

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、9月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、巻頭コラム「展開」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■今後も会誌らしい巻頭言が望まれる。若手に書かせる場合は、今後の学会への期待でもいいと思う。(匿名希望)

■巻頭コラムは賛否両論あるが、個人的には楽しく読ませてもらっている。(匿名希望)

3.11 大震災特別企画「大震災の記録保存に努力しよう」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■今回の大震災の記録保存に関する呼びかけに関しても、後世に残せる歴史的資料が多く集められることを祈っています。(匿名希望)

■こういうことに努力するのが学会の役目だろう。地震・津波・原発の3つの詳細なデータを蓄積して、いつでも公開できる体制を作してほしい。(匿名希望)

特集「東日本大震災 危機発生時の対応について考える」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■東日本大震災の記事の重要性は分かるが、もう少し内容を整理した方がよい。(匿名希望)

■東日本大震災に付随して発生した福島における原子力発電所の事故がまだ収束していない現状において、本特集は、時期尚早である。(水野光朗)

■いずれの記事も、2ページという限られた紙面であったがゆえに要点を押さえた事実の記述と伝えたいメッセージが絞り込まれていてよかったと思います。(米澤 恵)

■それぞれの役割事象ごとに、活用時点の状況と課題が明確に理解できました。(西崎 亨)

■著作権と非常時情報発信の間で葛藤した様子が複数の著者の記事から伝わってきて考えさせられました。(匿名希望)

■「災害復旧支援・原子力事故対策ロボット」を読んで、原子力災害に関する取り組みが十分に行われていなかったこと

を知りました。安心・安全だと勝手に思い込んでしまうことの危険を垣間見た気がします。(匿名希望)

■ITでは心理的なこと、心のケアはできないのでしょうか。情報処理系でもそういう研究をしている方はたくさんいると思うが、クローズアップされないのが残念。(匿名希望)

■「ポータルサイトの東日本大震災対応」：復興支援対策としての募金・写真保存などは、ヤフーだグーグルだという企業の壁を越えて取り組んでほしいが、そのような視点が欠けていたのは残念。(匿名希望)

■「震災時のクラウド提供と支援活動」：よくやっていたという内容だ。こういう記事の内容も、なんらかの意味で今後の参考になるだろう。(匿名希望)

■「地方自治体の危機対応と情報技術」：特に原子力災害における「専門家」の話は面白かった。公的な情報発信などは、こういう災害時にはあまり役に立たず、Twitter等での個人の対応が重要なのだと示したことも面白かった。(匿名希望)

特集「新しいインターネットがやってくる—基盤編—」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■建設的な考察をした記事が欲しい。今回のIPv6など、なぜ普及しないのかまで分かっているが、抜本的な対策が提示されていない。(平林健二)

■基盤編ということなので次回にも期待します。(五味 弘)

■IPv4とアドレス枯渇の問題は色々と論じられているが、実質的な実現論が必要だと思う。(匿名希望)

■「最近のインターネットの仕組み」：非常に分かりやすい解説で、初学者へのいい教材になるだろう。(匿名希望)

小特集「ソフトウェアパターン—時を超えるソフトウェアの道—」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■ソフトウェアに対するパターンよりも、建築などの話題が中心で、特集名からずれているように感じた。(匿名希望)

■「パターンランゲージからソフトウェアパターンへ」：ソフトウェアの世界で「パターンをレゴブロックのような部品と解釈し…」と誤解されている点に関して、そうではないことを建築の事例から記述していたあたりはうまいと思った。(匿名希望)

■「セキュリティの知識を共有するセキュリティパターン」：情報資産やその脆弱性の問題はすでに周知であるので、どのような方法でセキュリティパターンを適用し、安全なシステムを開発するかの実際を述べてほしかった。(匿名希望)

■「パターンランゲージ3.0」：読みやすい記事だった。Alexanderの話から始まっているが、著者が命名しているパ

ターンランゲージ 1.0, 2.0, 3.0 の違いや発展が明瞭に示されていた。
(匿名希望)

■「ソフトウェアパターン」はよかったのですが、きれいごとばかりになっていて、もっと面倒な部分や、企業現場での実際の泥臭い話があればと思います。
(五味 弘)

解説「実証実験「つくばチャレンジ」の背後にある取り組みの事例と完走するための自律移動技術」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■私自身は、この種の取り組みに嫌悪感を持っている。コンピュータの商業利用の本質は「省力化」にあるので、それを進めることで宅配トラックもなくなり、運転手の失業にもつながる。介護ロボットや危険地でのロボットは意味があるし、過疎地域への物品輸送等は重要と思うが、その種の成功例が国産でないことは嘆かわしい。
(匿名希望)

連載「古機巡礼 / 二進伝心：オーラルヒストリー 穂坂 衛氏インタビュー」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■面白かったが、おそらく穂坂先生の幅広いご体験の数パーセントしか記事になっていないだろう。この種の企画が穂坂先生にとどまらずなされることを期待する。
(匿名希望)

教育コーナー「べた語義：高度情報処理技術者の基礎力育成を目指した学部教育」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■苦労と工夫を重ねたことがよく分かりました。企業に勤める者の立場として、ぜひ優秀な学生を産業界に送っていただけたらと期待しています。
(匿名希望)

教育コーナー「べた語義：京大における Lisp を使ったプログラミング教育」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■テキストの内容は、1 年次・2 年次用には高度かなと思いはするが、教育内容でどこまでカバーしているのか？の実態を知りたい。
(匿名希望)

学会活動報告「情報技術の国際標準化と日本の対応－2010 年度の ISO/IEC JTC 1 および情報規格調査会の活動－」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■ Ruby に関する標準化策定は、ある意味で「まだ今頃」という感じがする。日本でも優れた成果について、学会が主導して国際的な標準化を推し進める努力を幅広く行ってほしい。
(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■ IETF での最近の話題を紹介してほしい。
(匿名希望)

■巻頭コラムの内容に不信感を覚えた。また、先の 3.11 大震災特別企画とそう変わらない内容な上、専門的過ぎて他分野の自分にとってはまったく興味を持てなかった。
(匿名希望)

■溢れかえるネットワーク（通信路・通信量）について特集してほしい。
(匿名希望)

■いずれもコンパクトな文章で読みやすかったが、一般の解説書や週刊誌と大差ないものもあった。専門誌としては全体を俯瞰した大局的な見解も必要ではないだろうか。（阿南佳之）

【本欄担当 服部宏充，掛下哲郎／書評・ニュース分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」< URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html> > にも掲載しています。Web 版では、紙面の制限のため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらでも参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>>

応募先 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
情報処理学会 会誌編集部
E-mail : editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!!



IPSIJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「スマートな社会を実現するコンピュータセキュリティ技術」 特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/12-Q.html	11月30日(水)		
	2011年度喜安記念業績賞候補者推薦募集 http://www.ipsj.or.jp/topics/kiyasu_boshu2011.html	12月2日(金)		
	デジタルプラクティス「減災ICT」特集論文募集 http://www.ipsj.or.jp/15dp/bosyu/dp0303s.html	12月5日(月)		
	震災復興デザインコンテスト http://www.ipsj.or.jp/topics/fukkodesign.html	12月15日(木)		
11月16日(水)	東海支部主催講演会「組織とICT」 http://www.ipsj-tokai.jp/			三重大学
11月17日(木)	連続セミナー 2011 第3回「コンシューマサービスを支える 要素技術と標準化動向」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2011/index.html		定員になり次第	化学会館7Fホール
11月17日(木)～ 11月18日(金)	第145回グラフィクスとCAD・第179回コンピュータビジョンと イメージメディア合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/CG145CVIM179.html	9月2日(金)	当日のみ	筑波大学
11月18日(金)	第137回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/all137.html	9月12日(月)	当日のみ	山口大学 吉田キャンパス
11月18日(金)	第83回デジタルドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dd83.html	9月28日(水)	当日のみ	東洋大学 白山第2キャンパス
11月21日(月)～ 11月22日(火)	第204回自然言語処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/nl204.html	10月5日(水)	当日のみ	石垣市商工会館
11月22日(火)	第104回情報基礎とアクセス技術研究会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ifat104.html	9月13日(火)	当日のみ	九州大学附属図書館中央 図書館視聴覚ホール
11月24日(木)	第32回ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/UBI32.html	9月22日(木)	当日のみ	お茶の水女子大学 理学部3号館2階会議室
11月24日(木)～ 11月25日(金)	第149回マルチメディア通信と分散処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps149.html	10月11日(火)	10月31日(月) 定員になり次第	山口・湯田温泉 「ホテルかめ福」 DPS研究会HPをご参照ください
11月26日(土)	日本技術者教育認定制度(JABEE)審査講習会・受審校向け講習会 http://www.ipsj.or.jp/12kyoiku/acre/T-Acc2011.html		11月11日(金) 定員になり次第	電気学会会議室 (千代田区五番町)
11月28日(月)～ 11月29日(火)	第189回計算機アーキテクチャ・第132回ハイパフォーマンス コンピューティング合同研究発表会(HOKKE-19) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/ARC189HPC132.html	9月22日(木)	当日のみ	北海道大学 学術交流会館
11月28日(月)～ 11月30日(水)	第153回システムLSI設計技術研究発表会(デザインガイア2011) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/SLDM153.html	9月1日(木)	当日のみ	ニューウェルシティ 宮崎
11月29日(火)	第119回システムソフトウェアとオペレーティング・システム・ 第23回組み込みシステム合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/os119emb23.html	10月3日(月)	当日のみ	立命館大学 朱雀キャンパス
11月30日(水)～ 12月1日(木)	コンピュータシステム・シンポジウム(ComSys2011) http://www.ipsj.or.jp/sig/os/index.php?ComSys2011	7月12日(火)		立命館大学 朱雀キャンパス
12月1日(木)～ 12月2日(金)	第4回インターネットと運用技術シンポジウム(IOTS2011) http://iot.ipsj.or.jp/iots/2011			慶應義塾大学 藤原洋記念ホール
12月1日(木)～ 12月2日(金)	第86回数値モデル化と問題解決・ 第27回バイオ情報学合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps86bio27.html	10月10日(月)	当日のみ	電気通信大学
12月2日(金)	第36回システム評価研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/EVA36.html	9月23日(金)	当日のみ	(株)アイアイエム
12月5日(月)	第55回コンピュータセキュリティ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/csec55.html	10月5日(水)	当日のみ	国立情報学研究所
12月5日(月)	第118回情報システムと社会環境研究発表会 "http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/is118.html"	10月7日(金)	当日のみ	キャンパス・イノベーション センター東京(田町)
12月6日(火)	東海支部主催講演会「スマートな次世代都市についての取組」 http://www.ipsj-tokai.jp/		無料、会員以外 の方も参加可能	東桜会館 (名古屋市中区)
12月10日(土)～ 12月11日(日)	人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2011」 http://jinmoncom.jp/sympo2011/	9月14日(水)	当日可	龍谷大学 大宮キャン パス(京都市下京区)
12月10日(土)～ 12月12日(月)	第93回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus93.html	11月10日(木)	当日のみ	首都大学東京 日野キャンパス
12月15日(木)～ 12月16日(金)	第75回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm75.html	10月19日(水)	当日のみ	名古屋大学
12月17日(土)～ 12月18日(日)	第22回エンタテインメントコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ec22.html	10月27日(木)	当日のみ	沖縄県での開催を予定
12月17日(土)～ 12月18日(日)	第112回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/CE112.html	10月31日(月)	当日のみ	島根大学 (島根県松江市)
12月19日(月)～ 12月20日(火)	第89回音声言語情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/slp89.html	10月14日(金)	当日のみ	芝浦工業大学
12月22日(木)	連続セミナー 2011 第4回「スマートフォンとコンシューマ サービスの新たな展開」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2011/index.html		定員になり次第	化学会館7Fホール
12月26日(月)	第2回情報セキュリティ心理学とトラスト研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/spt2.html	10月31日(月)	当日のみ	京都大学楽友会館
2012年	2011年度長尾真記念特別賞候補者推薦募集 http://www.ipsj.or.jp/topics/nagao_boshu2011.html	1月13日(金)		

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「ゲームプログラミング」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/12-GI.html	2月20日(月)		
	東海支部学生研究発表会助成 http://www.ipsj-tokai.jp/	2月28日(火)		
	論文誌「教育とコンピュータ」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-CE.html	3月19日(月)		
	論文誌「音声ドキュメント処理」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-SLP.html	5月31日(木)		
1月23日(月)～	第87回プログラミング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/pro87.html	11月18日(金)	当日のみ	久米島町イーブ 情報プラザ
1月24日(火)～	2012年ハイパフォーマンスコンピューティングと計算科学シンポジウム (HPCS2012) http://hpcs.hpcc.jp/			名古屋大学 豊田講堂
1月25日(水)	連続セミナー 2011第5回「通信、放送、ITの連携による新たな コンシューマサービスの出現」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2011/index.html		定員になり次第	化学会館7Fホール
1月25日(水)～	第154回システムLSI設計技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/sldm154.html	11月1日(火)	当日のみ	慶應義塾大学 日吉キャンパス
1月26日(木)～	第93回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ch93.html	11月28日(月)	当日のみ	奄美市立奄美博物館
1月27日(金)～	第138回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/al138.html	11月24日(木)	当日のみ	流通科学大学
1月28日(土)	第113回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/CE113.html	12月20日(火)	当日のみ	三重大学 (三重県津市)
2月4日(土)～	第55回電子化知的財産・社会基盤研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/eip55.html	12月16日(金)	当日のみ	追手門学院大阪城 スクエア
2月5日(日)	連続セミナー 2011第6回「センサ、デバイスによる新たな 情報と高度交通システム」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2011/index.html		定員になり次第	化学会館7Fホール
2月10日(金)	情報処理学会 第74回全国大会 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/74kai/index.html		2月10日(金)	名古屋工業大学
2月17日(金)	第8回ネットワーク生態学シンポジウム http://www.jaist.ac.jp/~yhayashi/NetEcoG_top.html		当日のみ	慶應義塾大学 (湘南藤沢キャンパス)
3月6日(火)～	インタラクション2012 http://www.interaction-ipsj.org/2012/index.html	11月8日(火)		日本科学未来館
3月8日(木)	ICPR2012第21回パターン認識国際会議 http://www.icpr2012.org/			つくば国際会議場
3月15日(木)～				
3月15日(木)				
3月15日(木)～				
3月16日(金)				
3月16日(金)				
3月16日(金)				
11月11日(日)～				
11月15日(木)				

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 10月15日 人材募集(11月)を更新しました
- 10月11日 論文誌「教育とコンピュータ」特集 論文募集
- 10月5日 2011年度論文賞候補論文推薦のお願い
- 10月3日 2011年度「優秀教育賞」および「優秀教材賞」推薦のお願い
- 10月3日 2012年度代表会員候補者の募集

人材募集 (有料会告)



申込方法：任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿（[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]）を添えて下記の申込先へE-mail、Faxまたは郵送にてお申し込みください。

*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限：毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

掲載料金：国公立教育機関、国公立研究機関 21,000円（税込）

賛助会員（企業） 31,500円（ 〃 ）

賛助会員以外の企業 52,500円（ 〃 ）

*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金4,000円で同一内容を本会Webページに掲載できます。

申込先：情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係） E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■東京情報大学総合情報学部情報システム学科

募集人員 嘱託教授 1名
専門分野 システム開発、ヒューマンインタフェース、エンタテインメントシステム
応募資格 博士の学位を有し、企業等における情報システムの開発やネットワーク関連業務の経験、大学における情報系科目の教育経験がある方、学生への教育研究指導に対して、熱意があり積極的である方
着任時期 2012年4月1日
提出書類 (1)履歴書、(2)研究業績リスト、(3)主要研究業績の別刷（コピー可）、(4)これまでの研究・教育概要、(5)今後の教育・研究に対する抱負、(6)応募者について照会可能な2名の方の氏名および連絡先
応募締切 2011年12月5日（必着）
照会先 情報システム学科長 布広永示 E-mail:nunohiro@rsch.tuis.ac.jp Tel/Fax(043)236-1292
その他 詳細については、Webページ (<http://www.tuis.ac.jp/university/292.html>) をご覧ください

■帝京大学理工学部ヒューマン情報システム学科

募集人員 講師または助教 1名（常勤、任期5年（任期なしへの移行も可能））
所属 理工学部ヒューマン情報システム学科、大学院は理工学研究科
専門分野 実験系人間工学：感覚系センシング・制御、人間工学の分野；たとえば医用ロボット、医用検査・診断・治療システム、脳マシンのインタフェース等
担当科目 組込みシステム、信号処理、ロボット製作演習、エレクトロニクス実験、プログラミング系科目など
応募資格 学位を有する、または取得できる見込みのある方、上記専門分野で研究・業績のある方、ロボットコンテスト等参加学生への指導に熱意のある方
着任時期 2012年4月1日
提出書類 履歴書、業績リスト、主要論文別刷（3編以内）、所属学会、社会における活動状況、特許、外部資金の取得状況、これまでの研究概要（A4用紙1枚以内）、今後の教育と研究に対する抱負（A4用紙1枚以内）
応募締切 2011年12月20日（必着）
照会先 ヒューマン情報システム学科 学科長 間多 均 E-mail:mada@ees.teikyo-u.ac.jp Tel(028)627-7162

■福岡工業大学情報工学部情報システム工学科

募集人員 教授、准教授または助教 いずれか1名
 専門分野 情報処理工学分野
 担当科目 情報工学、システム工学（主な担当科目：組込みソフトウェア、計算機工学、情報技術史、情報処理工学実験等）
 応募資格 専門分野の研究業績があり、以下の各項に該当する方
 (1) 博士の学位を有する方または着任時までに取得可能な方、(2) 大学院の教育、研究指導が可能な方が望ましい、(3) 実験や研究で実践的な学生指導ができる方が望ましい、(4) 教育歴のあることが望ましい
 着任時期 2012年4月1日
 提出書類 (1) 履歴書（学歴、職歴、学会および社会における活動等）、(2) 研究業績リスト（査読付き論文とその他の論文を区別すること、また、外部資金の獲得実績や特許などもあれば記載すること）、(3) 主要論文別刷（5編程度）、(4) これまでの研究概要と今後の研究計画、(5) 教育歴（これまでの担当科目や教育改善の取り組み、オープンキャンパスなどでの展示、出前講義などについてもあれば記載すること）、(6) 教育に対する抱負（JABEE認定を含む、1000字程度）
 ※紙での提出のほか、電子ファイル等のデジタルデータでも提出してください。ただし、(3)は除く
 応募締切 2011年12月22日（必着）
 送付先 〒811-0295 福岡県福岡市東区和白東3-30-1 福岡工業大学 教務課長 本行義洋 Tel(092)606-0647 Fax(092)606-7310
 「情報システム工学科教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 *原則として応募書類は返却いたしませんのでご了承ください
 照会先 情報システム工学科 学科長 木室義彦
 E-mail:kimuro@fit.ac.jp Tel(092)-606-4813（ダイヤルイン） Fax(092)606-0754（学科事務室）
 その他 本学は65歳定年です

■北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科

募集人員 助教 1名（任期付き・再任制度あり）
 所属 理論情報科学領域
 専門分野／関連する職務 アルゴリズム理論、組合せ最適化、計算量の理論、計算幾何学、離散数学、グラフアルゴリズムなど。主に離散的な構造を持つ問題に対するアルゴリズムや複雑さの研究。アルゴリズムに関連する講義補助、理論計算機科学分野のゼミ指導補助など
 応募資格 採用時に博士の学位を有する方で、大学院大学である本学の理念（本学Webページ参照）を理解し、国際性・学際性に富み、今後の上記分野の研究および教育の発展のために熱意を有する方
 着任時期 2012年4月1日以降できる限り早い時期
 提出書類 履歴書、研究歴（学術雑誌の編集委員、国際会議のプログラム委員等学術的貢献や標準化等の社会貢献など。また、受賞、研究費調達状況など選考の参考になる事項も含めてください）、研究業績リスト（国際論文誌、査読付き国際会議、国内論文誌、研究会・国内シンポジウム等の発表論文、著書、特許、その他に区別し、新しいものから順番に列記）、主要論文別刷（3編、コピー可）、主たる研究概要（2000字程度）、今後5年間の研究計画（2000字程度）、教育に対する抱負（2000字程度）、応募者本人の連絡先（郵便宛先とE-mailアドレス）、推薦書2通または意見を伺える方2名の氏名・所属と連絡先（E-mail）
 応募締切 2012年1月4日（必着）
 送付先 〒923-1292 石川県能美市旭台1-1 北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科長 赤木正人
 「教員応募書類在中（理論情報科学領域・助教）」と朱書き簡易書留 *E-mailにより提出された書類は受け付けません
 照会先 情報科学研究科長 赤木正人 E-mail:akagi@jaist.ac.jp Tel(0761)51-1155（研究科長秘書） Fax(0761)51-1149（研究科共通事務室）
 その他 本学は、教員の選考に際して機会均等、多様性が重要と考え、女性や外国人の採用を積極的に進めています
 本学に関する情報については、Webページ（<http://www.jaist.ac.jp/index-jp.html>）をご覧ください

■久留米工業大学工学部情報ネットワーク工学科

募集人員 准教授 1名
 専門分野 電子・情報工学（組込みシステム、電子回路、プログラミングなど）
 応募資格 博士の学位を有し、教育・研究に熱意があり、学部・学科運営に積極的に協力できること
 着任時期 2012年4月1日
 応募締切 2012年1月5日（必着）
 照会先 工学部情報ネットワーク工学科長 朱雀保正 E-mail:sujaku@cc.kurume-it.ac.jp Tel(0942)22-2345
 その他 詳細は本学Webページ「教員採用情報」または<http://www.kurume-it.ac.jp/in/job/>をご覧ください

■大分大学工学部知能情報システム工学科

募集人員 教授 1名
所 属 知能システム講座
専門分野 ヒューマンコンピュータシステム, Web 情報処理, メディア処理, 知的情報処理
担当科目 Webサイエンス, ヒューマン・インタフェース, 情報論理学など
応募資格 (1)博士の学位を有する方, (2)専門分野における研究業績が十分にあり, 大学院博士後期課程の教育および研究指導ができる方,
(3)その他の応募資格については, 大分大学工学部の教員公募ページをご覧ください
着任時期 2012年8月1日
提出書類 (1)個人調書(様式は大分大学工学部Webページ (<http://www2.cc.oita-u.ac.jp/eng/index.html>)の「一般の方へ」から「教員公募」をた
どりダウンロードしてください), (2)主要論文別刷(5編, コピー可), (3)今後の教育(学生指導も含む)および研究に対する抱負
(それぞれ1000字程度), (4)推薦書1通または参考意見を求め得る方2名の氏名と連絡先
応募締切 2012年1月31日(必着)
送付先 〒870-1192 大分県大分市旦野原700 大分大学工学部総務係 係長 酒井智子
「知能情報システム工学科教員応募書類」と朱書き簡易書留
照会先 知能情報システム工学科 学科長 越智義道 E-mail:ochi@oita-u.ac.jp Tel(097)554-7869 Fax(097)554-7886
その他 教員公募ページ (<http://www2.cc.oita-u.ac.jp/eng/pdf/koubo-111007-3.pdf>)をご覧ください



論文誌ジャーナル掲載論文リスト
Vol.52 No.11 (Nov. 2011)

【一般論文】

- 情報エントロピーと不平等指数について[†] 一森哲男
- B Methodにおける高信頼ソフトウェア部品自動生成 中村文洋 他
- P2P ストリーミング環境における分割データの重要度を考慮した視聴中止端末数削減手法 坂下 卓 他
- 分散制約充足問題：特定の制約網に特化した変数順序付けヒューリスティックの提案 沖本天太 他
- 将棋における合議アルゴリズム—多数決による手の選択— 伊藤毅志 他

- 大規模データを用いた半教師あり学習による高精度係り受け解析モデルの学習 鈴木 潤 他
- キーワードマップ上での気づかせ支援による意思決定へ及ぼす影響に関する考察 梶並知記 他
- プログラミング入門教育におけるインデントと実装能力の関係 高野辰之 他

*：推薦論文 Recommended Paper

†：テクニカルノート Technical Note



書評・会議レポート募集のお知らせ

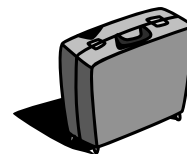
情報処理学会会誌編集委員会では、会誌「情報処理」に掲載する書評、および会議レポートを広く会員の皆さまから募集しています。

1. 募集対象 次の2種類の記事について、原稿を募集します。

- a) 書 評 : 過去2年間に出版された、本学会員にとって有益な図書についての紹介もしくは批評。
- b) 会議レポート: 情報処理に関する国際規模の会議・大会の報告など、時事性が高く、本学会員に広く知らせる価値のある話題。

2. 応募資格

原則として本学会員に限ります。



3. 応募の手続き

- 1) 表 題: 書評の場合は、著者名、書名、ページ数、発行所、発行年、価格、ISBNを書く。
会議レポートは、見出しを書く。書評、会議レポートの別を左肩に書く。
- 2) 評者名(会議レポートの場合は筆署名)・所属・評者連絡先(住所、E-mai, Faxなど)の記載を忘れずに。
- 3) 本 文: 書評、会議レポートとも2,100字前後で書く。
- 4) (必要であれば)参考文献、付録、図、表をつける。
詳しくは「原稿執筆のご案内/書評・会議レポート」(<http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/shohyonews.html>)を参照してください。

4. 原稿の取扱い

投稿された原稿は会誌編集委員会で審査し、採否を決定します。採用にあたっては原稿の修正をお願いすることがあります。あらかじめご了承ください。

5. 照会/応募先 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門 E-mail:editj@ipsj.or.jp

2011年度山下記念研究賞表彰(概要)

詳細は学会 Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp/>) をご覧ください。

山下記念研究賞は、これまでは研究賞として本学会の研究会および研究会主催シンポジウムにおける研究発表のうちから特に優秀な論文を選び、その発表者に贈られていたものですが、故山下英男先生のご遺族から学会にご寄贈いただいた資金を活用するため、1994年度から研究賞を充実させ、山下記念研究賞としたものです。受賞者は該当論文の登壇発表者である本学会の会員で、年齢制限はありません。本賞の選考は、表彰規程、山下記念研究賞受賞候補者選定手続および山下記念研究賞推薦内規に基づき、各領域委員会が選定委員会となって行います。本年度は36研究会の主査から推薦された計51編の優れた論文に対し、慎重な審議を行い、決定されたうえで、理事会(2011年8月)および調査研究運営委員会に報告されたものです。本年度の受賞者は下記51君で、3月7日に名古屋工業大学で開催される第74回全国大会の席上で表彰状、賞牌、賞金が授与されます。

[コンピュータサイエンス領域]

● Trust Relations and Product Ratings on the Web

[Webとデータベースに関するフォーラム(WebDB Forum 2010)(2010.11.12)](データベースシステム研究会)
歐陽靖民君(正会員)

● MIGSOM : 神経細胞移動モデルに基づく自己組織化マップへ大規模リンクドデータへの応用～

[Webとデータベースに関するフォーラム(WebDB Forum 2010)(2010.11.12)](データベースシステム研究会)
中山浩太郎君(正会員)

● Feature Location を用いたソースコード理解の対話的支援

[ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム(SES2010)(2010.8.31)](ソフトウェア工学研究会)
林 晋平君(正会員)

● Jackson の要求・仕様参照モデルに基づく要求追跡の形式手法

[ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム(SES2010)(2010.8.31)](ソフトウェア工学研究会)
北村崇師君(正会員)

● プロセスばらつきを考慮した NoC アーキテクチャの検討

[2010-ARC-191(2010.10.18)](計算機アーキテクチャ研究会)
中田洋平君(学生会員)

● SIMD アレイプロセッサにおけるマルチスレッド実装方式の検討

[2010-ARC-191(2010.10.18)](計算機アーキテクチャ研究会)
野本祥平君(正会員)

● オーバレイネットワークにおけるグループ間通信抑制手法

[2010-OS-115(2010.8.3)](システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会)
長尾洋也君(学生会員)

● 仮想マルチプロセッサモデルに基づく高速 SoC プロトタイプピン

[2010-SLDM-147(2010.11.29)](システム LSI 設計技術研究会)
吉田浩章君(正会員)

● Simultaneous Allocation and Binding Considering Multiplexers in High-Level Synthesis

[2011-SLDM-148(2011.1.17)](システム LSI 設計技術研究会)
安積(原) 祐子君(正会員)

● パケットペーシングを用いた最適全対全通信アルゴリズムのシミュレーション評価

[2010-HPC-126(2010.8.3)](ハイパフォーマンスコンピューティング研究会)
柴村英智君(正会員)

● ヘテロ型スーパーコンピュータ TSUBAME 2.0 の Linpack による性能評価

[2010-HPC-128(2010.12.16)](ハイパフォーマンスコンピューティング研究会)
遠藤敏夫君(正会員)

● 領域限定言語に基づく最適経路問合せ

[2010.10.29](プログラミング研究会)
森畑明昌君(正会員)

● Undecidability of a Simple Origami Problem

[2010-AL-131(2010.9.22)](アルゴリズム研究会)
上原隆平君(正会員)

● 細胞分化クロストークのモデル化と細胞分化クロストーク遺伝子の推定手法

[2011-MPS-82(2011.3.7)](数理モデル化と問題解決研究会)
吉澤陽志君(正会員)

● 静的コード解析による検出漏れのない割込み干渉検出手法の開発

[組込みシステムシンポジウム(ESS2010)(2010.10.29)](組込みシステム研究会)
稲森 豊君(正会員)

[情報環境領域]

● Range-Key Skip Graph による範囲検索可能な大規模分散キーバリュースタの実現

[2010-DPS-144(2010.9.18)](マルチメディア通信と分散処理研究会)
石 芳正君(正会員)

● Network-based Local Mobility Management に基づく移動ネットワークプロトコルの実装と評価

[2011-DPS-146(2011.3.11)](マルチメディア通信と分散処理研究会)
有田哲也君(正会員)

● AntiSpoiler : ネットバレ防止ブラウザ

[2010-HCI-139(2010.7.31)](ヒューマンコンピュータインタラクション研究会)
中村聡史君(正会員)

● 患者固有データに基づく手術手技訓練用シミュレータの開発

[Visual Computing / グラフィクスと CAD 合同シンポジウム(2010.6.27)](グラフィクスと CAD 研究会)
緒方正人君(正会員)

● 不偏な適合的自由行程サンプリングのための最適な空間分割に関する考察

[2010-CG-141(2010.11.8)](グラフィクスと CAD 研究会)
楽 詠瀬君(正会員)

● 意欲喚起と自学自習支援による情報システムクリエータの育成

[2010-IS-114(2010.12.1)](情報システムと社会環境研究会)
金寺 登君(正会員)

● 帰属文書数に基づく Web ページ情報発信者の専門性分析

[2010-IFAT-99(2010.8.4)](情報基礎とアクセス技術研究会)
加藤義清君(正会員)

● ブロック適応時空間予測に基づいた動画像符号化の検討

[2011-AVM-72(2011.3.11)](オーディオビジュアル複合情報処理研究会)
海野恭平君(正会員)

● 2次トリアージを用いた傷病者情報管理システムの提案

[2011-GN-78(2011.1.22)](グループウェアとネットワークサービス研究会)
高橋祐樹君(学生会員)

- TrueType フォントの UVS 拡張を用いた Adobe CID 字形集合の代替処理の高速化
[2010-DD-76 (2010.7.23)] (デジタルドキュメント研究会)
鈴木俊哉君 (正会員)
- モバイルノードを用いた建造物の位置および形状推定
[2010-MBL-54 (2010.5.20)] (モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会)
藤井彩恵君 (正会員)
- Probabilistic Methods for Spatio-Temporal Coverage in People-Centric Sensing
[2010-MBL-55 (2010.9.2)] (モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会)
Ahmed Asaad 君 (学生会員)
- マルウェア動的解析オンラインサービスの脆弱性 (その 2)
[コンピュータセキュリティシンポジウム (CSS2010) (2010.10.20)] (コンピュータセキュリティ研究会)
笠間貴弘君 (学生会員)
- 開封時刻の秘匿性を持つ事前開封機能付きタイムリリース暗号の一般的な構成法
[コンピュータセキュリティシンポジウム (CSS2010) (2010.10.21)] (コンピュータセキュリティ研究会)
松田隆宏君 (正会員)
- GPS ドップラーと慣性センサの統合による車両軌跡推定手法の提案
[2010-ITS-43 (2010.11.12)] (高度交通システム研究会)
目黒淳一君 (正会員)
- システムモデルベース SI 支援環境による性能・可用性評価
[2010-EVA-33 (2010.11.29)] (システム評価研究会)
伊豆倉さやか君 (正会員)
- ユーザ参加型動的ストリート画像フロー生成機構の設計
[2010-UBI-26 (2010.5.28)] (ユビキタスコンピューティングシステム研究会)
石塚宏紀君 (学生会員)
- 個人必携パソコンによる情報環境—鳥取環境大学の事例—
[2010-IOT-9 (2010.5.14)] (インターネットと運用技術研究会)
齊藤明紀君 (正会員)
- HoUZK/JP—手作り USB HID を用いたシステム管理支援, 特殊入力装置作製, およびプレゼンテーション手法について
[2011-IOT-12 (2011.2.28)] (インターネットと運用技術研究会)
大野浩之君 (正会員)
- 【フロンティア領域】
- ハブを作らないグラフ構築法を用いた半教師あり語義曖昧性解消
[2010-NL-199 (2010.11.19)] (自然言語処理研究会)
小嵩耕平君 (学生会員)
- モバイルエージェントに基づく P2P 検索への意味レベル照合の実装手法に関する一考察
[2010-ICS-160 (2010.10.27)] (知能システム研究会)
福田直樹君 (正会員)
- 反射・散乱の計測とモデル化
[2010-CVIM-172 (2010.5.27)] (コンピュータビジョンとイメージメディア研究会)
向川康博君 (正会員)
- 画像化プロセスと画像ノイズ
[2010-CVIM-174 (2010.11.19)] (コンピュータビジョンとイメージメディア研究会)
高松 淳君 (正会員)
- テレビゲームを通して情報科学を概観する教養教育科目の授業実践
[2010-CE-105 (2010.7.10)] (コンピュータと教育研究会)
長瀧寛之君 (正会員)
- 回路の製作を取り入れた計測・制御学習用基板の開発
[情報教育シンポジウム (SSS2010) (2010.8.20)] (コンピュータと教育研究会)
樋口大輔君 (正会員)
- 人名典拠情報の API による共有化と画像資料における人名情報参照システム
[人文科学とコンピュータシンポジウム (じんもんこん 2010) (2010.12.11)] (人文科学とコンピュータ研究会)
研谷紀夫君 (正会員)
- Sinsy : 「あの人に歌ってほしい」をかなえる HMM 歌声合成システム
[2010-MUS-86 (2010.7.28)] (音楽情報科学研究会)
大浦圭一郎君 (正会員)
- BandNavi : バンドメンバーの変遷情報を辿るアーティスト発見システム
[2010-MUS-86 (2010.7.29)] (音楽情報科学研究会)
吉谷幹人君 (正会員)
- ベイズ推論を用いた連続音声からの言語モデル学習
[2010-SLP-82 (2010.7.24)] (音声言語情報処理研究会)
NEUBIG Graham 君 (学生会員)
- 非負値行列因子分解に基づく多人数会話における話者分類
[2011-SLP-85 (2011.2.4)] (音声言語情報処理研究会)
西田昌史君 (正会員)
- WEB 上の生命保険契約に関する一考察
[2010-EIP-48 (2010.5.28)] (電子化知的財産・社会基盤研究会)
井出 明君 (正会員)
- ゲーム構成要素を組み合わせた特徴の最適化
[ゲームプログラミングワークショップ 2010 (2010.11.12)] (ゲーム情報学研究会)
矢野友貴君 (正会員)
- 温冷表示を利用したビデオゲームインタラクションにおけるその手法の検討と開発
[2010-EC-17 (2010.8.24)] (エンタテインメントコンピューティング研究会)
馬場哲晃君 (正会員)
- 複数生物種ネットワークの同時予測 : 半教師つき学習によるアプローチ
[2010-BIO-21 (2010.6.19)] (バイオ情報学研究会)
鹿島久嗣君 (正会員)
- 期待精度最大化に基づく RNA シュードノット予測
[2010-BIO-22 (2010.7.29)] (バイオ情報学研究会)
加藤有己君 (正会員)
- 市販ハイビジョンカメラを用いた講義ビデオ撮影加工システムの運用報告
[2010-CLE-1 (2010.5.14)] (教育学習支援情報システム研究会)
永井孝幸君 (正会員)



情報処理学会「震災復興デザインコンテスト」

ITによる震災復興支援を図るべく、若手技術者や学生を対象に、期待できる今後のITの発達・普及を前提として、ITが支える新しい地域や社会のあり方についてのアイデアを募集

復興アイデアの留意点

- 期待できる今後のITの発達・普及を前提
- ITが支える新しい地域や社会のあり方についてのアイデア
- どのような夢のある社会が実現できるか
- 実現可能と考えるITを駆使した実現イメージ、実現方法など

応募資格

2012年3月末現在で
30歳未満（非会員も可）

応募締切

2011年12月15日(木) 必着



選考方法

震災復興デザインコンテスト選定委員会を設け、最優秀賞1件、優秀賞数件を理事会で決定。



表彰

第74回全国大会(2012年3月6~8日、名工大)で表彰。
選定された論文の内容は、学会Webサイトで広く周知するとともに、第74回全国大会での発表。

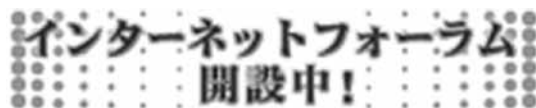
照会先

<http://www.ipsj.or.jp/topics/fukkodesign.html>
一般社団法人情報処理学会震災復興デザインコンテスト係
E-mail:soumu@ipsj.or.jp

Web サイトバナーについて

本会では Web サイト内 (<http://www.ipsj.or.jp>) に載せるバナー広告を募集しています。当サイトへ広告を載せることで、本会会員または情報処理に興味のある方々に強くアピールすることができます。ぜひ本会 Web サイトへのバナー広告掲載をご検討ください。

- トップページアクセス数：約 45,000 件/月
- サイズ・ファイル形式：幅 200×高さ 38ピクセル JPEG もしくは GIF 形式 ※リンク先 URL もご指定ください。
- 見 本：



- 掲載期間：1 カ月単位の契約となります。ご希望掲載期間をお知らせください。
- 掲 載 料：トップページ：52,500 円/月 (税込)
その他のページ：31,500 円/月 (税込)
*本会賛助会員の企業広告および賛助会員が主催する会議については、上記料金より20%割引になります。
- 注意事項：アニメーションを含むバナーはご遠慮ください。
広告の内容が大幅に変更された場合は、下記照会先にご連絡ください。
- 照会/申込先：

[広告代理店]
アドコム・メディア (株) E-mail:sales@adcom-media.co.jp
〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27 Tel.(03)3367-0571 Fax.(03)3368-1519

または 会誌編集部門 E-mail:editj@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8371

CONTENTS

Preface

The Two Worlds of Software
Kumiyo NAKAKOJI (Software Research Associates, Inc.)

Special Features

IT Talents Who Sprang Out of the Mitoh-Youth

- 1483 **0. Foreword**
Ikuo TAKEUCHI (Waseda Univ.)
- PART 1**
- 1484 **1. Mitoh Youth as Human Resources Development**
Daisuke OKANOHARA (Preferred Infrastructure Inc.)
- 1485 **2. To Developers of Minor Operating System**
Hidemi KAWAI (Cybozu Labs, Inc.)
- 1486 **3. Development of Quantum Computer Simulator QCAD**
Hiroshi WATANABE (The Univ. of Tokyo)
- 1487 **4. Mitoh as a Networking System**
Hirokazu NISHIO (Cybozu Labs, Inc.)
- 1488 **5. Sensor Database Groomed by Mitoh**
Hideyuki KAWASHIMA (Univ. of Tsukuba)
- 1489 **6. After Mitoh : Blow with the Wind**
Daisuke AKATSUKA (Mozilla Japan)
- 1490 **7. Step Up through Mitoh Youth**
Masato BITO (Sungura, Inc.)
- 1491 **8. Spreading World with Ruby**
Koichi SASADA (The Univ. of Tokyo)
- 1492 **9. Sharing Ideas**
Jumpei ARAKAWA (The Univ. of Tokyo)
- 1493 **10. How I Became a Mitoh-jin**
Kazushi TAKAHASHI (The Univ. of Tokyo)
- 1494 **11. The Mitoh Program and Open-Source**
Kohsuke KAWAGUCHI (Architect, CloudBees, Inc.)
- 1495 **12. Generating Value from Large Social Network**
Shohei OHSAWA (Univ. of Tsukuba)
- 1496 **13. Field for Exploration, Growing, and Connection**
Satoshi OHSHIMA (The Univ. of Tokyo)
- 1497 **14. Myself after the Mitoh Program**
Kouhei UENO (The Univ. of Tokyo)
- 1498 **15. Computational Origami for Design**
Tomohiro TACHI (The Univ. of Tokyo)
- 1499 **16. An Example of Mitoh Creator's View of Development Works**
Masafumi UEDA (Plat'Home Co., Ltd.)
- 1500 **17. I am not a Programmer, Therefore the Community Continues**
Shinta NAKAYAMA (NTT Information Sharing Platform Labs.)
- 1501 **18. Test Bed for Effective Distributed Systems Development**
Yoshiki NISHIKAWA (The Univ. of Tokyo)
- 1502 **19. I Produce Software that I Want**
Haruto TANNO (NTT Cyber Space Labs.)
- 1503 **20. Amberate : A Framework for Web Application Security Scanners**
Yuji KOSUGA (Keio Univ.)
- 1504 **21. From ESP to International Computer Graphics Research**
Nobuyuki UMETANI (The Univ. of Tokyo)
- 1505 **22. Cycle of Art and Technology**
Yoichi OCHIAI (The Univ. of Tokyo)
- 1506 **23. The Value of Standing at the Start Line**
Kohei HORIUCHI (Univ. of Electro-Communications)
- 1507 **24. Starting My Own Business**
Keisuke NISHIDA (Biz'Mobile, Inc.)

- 1508 **25. Growth Story of "Mitoh" Student Creators**
Kyosuke INOUE (mixi, Inc.) and Keisuke SOGAWA (fluxflex, inc.)
- 1510 **26. Elite Corps : The Team Building**
Jun KUCHII (ViVienne inc.), Daiyuu NOBORI, Takao ITOH (Softtether Corp.) and Yohei KURIKAWA (ViVienne inc.)

PART 2

- 1514 **1. What I Expect for the Human Resources of Mitoh**
Michiaki YASUMURA (Keio Univ.)
- 1516 **2. Attraction of the IPA Mitoh Youth Program**
Masataka GOTO (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST))
- 1518 **3. Talented Youths Met in the IPA Mitoh Projects**
Katsuhiko KAKEHI (Waseda Univ.)
- 1520 **4. We Do Best the Things We Enjoy**
Kazuyuki SHUDO (Tokyo Institute of Technology)

Special Features

Quick Report of Masters' and Bachelors' Theses Recommended by IPSJ

- 1537 **0. Foreword**
Mitsuhisa SATO (Univ. of Tsukuba) and Kiminori MATSUZAKI (Kochi Univ. of Technology)
- 1538 **1. Quick Report of Masters' Theses Recommended by IPSJ**
- 1544 **2. Quick Report of Bachelors' Theses Recommended by IPSJ**

Articles

- 1522 **Trend of People Flow Analysis Technology Using Mobile Phone**
Yoshihide SEKIMOTO, Teerayut HORANONT and Ryosuke SHIBASAKI (The Univ. of Tokyo)

Senior Column : Messages on Favorite IT

- 1531 **Robust System or Resilient System? - A Personal Dream Inspired by the Disaster -**
Hitoshi WATANABE (SOKA Univ.)

Column : "I" Report

- 1532 **History of Computer Exhibition**
Hitoshi NISHIMURA (Hiroshima Central City Library)

Series : Pilgrimage to Vintage Computers / Trail Blazers' Recollections of 0's and 1's

- 1554 **Oral History : Interview with Dr. Nishino Hiroji**
Naoya UKAI (Fujitsu Ltd.), Tsuneo URAKI, Toshio MATSUNAGA (Tokyo Univ. of Technology) and Akihiko YAMADA (Computer Systems and Media Lab.)

"Peta-gogy" for Future

- 1561 **Do you Enjoy Programming?**
Hiroyasu KAKUDA (The Univ. of Electro-Communications)
- 1562 **Quality Assurance of College Level Education through JABEE : Reforming Higher Education through Accreditation**
Kazuo USHIJIMA (Kyushu Univ.)
- 1567 **Creative and Effective CPD (Continuing Professional Development) for Professional Engineer**
Takeo KUROSAWA (Technology & Knowledge Enterprise (Institute of TAKE International PE))
- 1573 **IPD (Initial Professional Development) Provided by IPEJ (The Institution of Professional Engineers, Japan)**
Susumu KOBAYASHI (IPEJ)

ご意見をお寄せください!

【12月10日頃までにお出しください】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)
http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)
※ ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。
http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. () -
- (3) E-mail:
- (4) 業種: (a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)
(e) 学生 (f) その他 4- []
- (5) 職種: (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)
(i) 学生 (j) その他 5- []
- (6) 年齢: (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6- []
- (7) 性別: (a) 男性 (b) 女性 7- []
- (8) あなたはモニタですか?: (a) はい (b) いいえ 8- []
- (9) あなたのご意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合:
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9- []
- (10) 今月号 (2011年12月号) の記事はお役に立ちましたか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
[a...大変よい b...よい c...普通、どちらとも言えない d...悪い e...読んでいない]
- 巻頭コラム: ソフトウェアにおける2つの世界 10-1- []
- 特集: 未踏コースから育ったタレントたち
- PART 1 若い未踏クリエイターからのメッセージ
1. 人材育成としての未踏コースの役割 10-2- []
 2. 野良 OS 開発者の視点 10-3- []
 3. 量子計算シミュレータ QCAD の開発 10-4- []
 4. ネットワーク形成システムとしての未踏 10-5- []
 5. 未踏が育ててくれたセンサデータベース 10-6- []
 6. 未踏後: 気の向くままに 10-7- []
 7. 未踏コースを通じてステップアップ 10-8- []
 8. Ruby で広がる世界 10-9- []
 9. アイディアを共有すること 10-10- []
 10. 余は如何にして未踏人となりし乎 10-11- []
 11. 未踏とオープンソース 10-12- []
 12. 大規模なソーシャルデータから価値を創出する 10-13- []
 13. 発掘し、育成し、つなぐ場所 10-14- []
 14. 未踏コースからの「広がり」 10-15- []
 15. デザインのためのコンピューティショナル・オリガミ 10-16- []
 16. 未踏コースクリエイターの「開発観」の例として 10-17- []
 17. プログラマじゃないから続くコミュニティ 10-18- []
 18. 分散システムの開発を支援するテストベッド 10-19- []
 19. 自分の欲しいソフトウェアを創る 10-20- []
 20. Amberate: Web アプリケーションの脆弱性検出フレームワーク 10-21- []
 21. 未踏から世界的 Computer Graphics 研究へ 10-22- []
 22. アートとテクノロジーのサイクル 10-23- []
 23. スタートラインに立つことの価値を知る 10-24- []
 24. 仕組みを作る楽しさと難しさ 10-25- []
 25. 未踏が繋いだ、学生エンジニアたちの成長物語 10-26- []
 26. 少数精鋭、未踏チームの作り方 10-27- []
- PART 2 プロジェクトマネージャからも一言
1. 未踏コースの人材に期待するもの 10-28- []
 2. 未踏コースの魅力 10-29- []
 3. 未踏コースから育ったタレントたち 10-30- []
 4. 好きこそものの上手なれ 10-31- []
- 携帯電話を活用した人々の流動解析技術の潮流 10-32- []
- IT 好き放題: 頑丈なシステムからしなやかなシステムへ 10-33- []
- "I" 見聞録: コンピュータの歴史展 10-34- []
- 特集: 情報処理学会推奨修士論文・卒業論文速報 10-35- []
- 古機巡礼/二進伝心: オーラルヒストリー 西野博二氏インタビュー 10-36- []
- べた語義: コラム: プログラミングは楽しいですか? 10-37- []
- べた語義: JABEE を通じた大学教育の質的保証 (前編) 10-38- []
- べた語義: 創造的で効果的な技術士 CPD (継続研鑽) に向けて 10-39- []
- べた語義: 日本技術士会が提供する初期専門能力開発 10-40- []

(11) 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び(例:10-8の記事の場合は「8」と記入), その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- 〔11-1〕 良かった記事 11-1- []
 〔11-2〕 選んだ理由(下記から, いくつでも選択可)..... 11-2- []
 a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった
 e) その他(具体的に下記にご記入ください)

(12) 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び(例:10-8の記事の場合は「8」と記入), その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- 〔12-1〕 良くなかった記事 12-1- []
 〔12-2〕 選んだ理由(下記から, いくつでも選択可)..... 12-2- []
 a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる
 f) テーマに興味を持てなかった g) その他(下記に具体的に記入ください)

(13) 設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について, その理由を教えてください。

(14) 会誌に対するご意見やご感想, 著者への質問, 巻頭コラムに登場してほしい人物, 今後取り上げて欲しいテーマなどありましたらご記入ください。(スペースが足りない場合はお手紙を追加してください)

■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会(本部) ※ 支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会, 会費, 変更連絡, 退会, 在会証明, 会員証, 会費等口座振替, 海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容, 広告掲載, 転載許可, 出版, 著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌(ジャーナル)の編集・査読
調査研究/教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録, 研究発表会, シンポジウム, 研究グループ, 論文誌(トランザクション)
■ 事業部門			
事業/国際	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会, FIT, 連続セミナー, プログラミング・シンポジウム, 国際会議, IFIP委員会
■ 管理部門			
総 務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会, 支部, 役員選挙, 名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納, 送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画, 電子化委員会, 電子図書館, IPSJ メールニュース
図 書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp	標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/	

今年立て続けに未踏関係の特集のゲストエディタを務めた。4月のデジタルプラクティスの「世界に飛び出す日本のソフトウェア」特集、11月の日本ソフトウェア科学会の「未踏」特集、そして12月の本号である。似たトピックスで1年のうちに3回も、うち2つは同じ学会で特集を企画するとは、1粒で3回美味しいみたいと思われるかもしれないが、企画するほうとしては、その美味しさの性格づけの区別をどうつけるかに腐心いや心は腐らない—アイデアを出さないといけない。

本特集は未踏ユースの連中のマスとしての力を感じてもらえ

るように、1人1ページという、あまり前例のない体裁をとった。重複調整が必要だったが、それでもみんなの思いはほとんど同じベクトルを向いている。少々鼻につく感があったら、お許し願いたい。逆に未踏が彼らに与えたインパクトがコヒーレントだったということだろう。この号が出るころには2011年度の未踏がスタートする。この特集が新クリエイターに対して良いプレッシャーになることを期待したい。

(竹内郁雄／本特集ゲストエディタ)

修士論文・卒業論文速報特集で掲載する原稿の順番を考える際に、似たような分野の論文紹介は近い位置にあった方が読者にとって有意義であろうと考え、今回の特集ではできるだけそのように配置したつもりである。その配置を考えるため、すべての紹介記事を読んだが、複合領域分野での研究も多く、その研究の分野を特定するのにもなかなか苦労した。それを考える

と、全国大会のプログラム編成などは非常に大変な作業であることを改めて認識する次第である。

また、今回も残念ながら、受賞されたすべての論文を紹介するには至っていない。より多くの論文を紹介できるよう改善していく予定なので、どうぞ今後にご期待ください。

(松崎公紀／本特集エディタ)



次号（1月号）予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

3.11 大震災特別企画：震災等の大規模災害における情報活用 —東日本大震災復興構想会議を踏まえて— …… 神成淳司

「特集」冬休みチュートリアル スマートフォンプログラミング2～iPhoneとAndroidによるセンサプログラミング～

iPhoneによるセンサプログラミング／Androidによるセンサプログラミング／Windows Phoneによるセンサプログラミング／付録：Windows Phoneプログラミング入門

解説：Imagine Cup チャレンジ（前編）Imagine Cup 入門 …… 中山浩太郎 他

報告：バグウォッシュを覚えていますか？ …… 稲垣知宏

道しるべ：ロボカップ道しるべ

教育コーナー：ぺた語義

コラム：“I” 見聞録／巻頭コラム／シニアコラム：IT好き放題

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	346,500円 (税抜330,000円)	—	—
表3	288,750円 (税抜275,000円)	—	—
表4	404,250円 (税抜385,000円)	—	—
表2対向	315,000円 (税抜300,000円)	—	—
表3対向	278,250円 (税抜265,000円)	199,500円 (税抜190,000円)	162,750円 (税抜155,000円)
前付1頁	262,500円 (税抜250,000円)	173,250円 (税抜165,000円)	141,750円 (税抜135,000円)
前付1/2頁	—	—	84,000円 (税抜80,000円)
前付最終	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
目次前	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	288,750円 (税抜275,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		
同封 (A判 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		

■「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会
 発行部数 23,000部
 体裁 A4判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm
 1/2頁 天地125mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて(またはE-mailにて必要事項を記入の上)アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■「情報処理」 52巻12号 掲載広告(五十音順)

- アイ・ケイ コーポレーション 前付最終上 オーム社 表2対向
 インタフェース 表2 ぷらっとホーム 表4

すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ
お名前 _____

勤務先 _____ 所属部署 _____

所在地 (〒 _____) _____

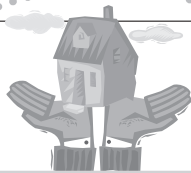
TEL (_____) _____ - _____ FAX (_____) _____

ご専門の分野 _____



お問合せ・お申込み・資料請求は
広告総代理店 アドコム・メディア(株)

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。
Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも
各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

MITSUBISHI
Changes for the Better

三菱電機 (株)

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)

Google

グーグル (株)

GREE

グリー (株)

docomo

(株) NTT ドコモ

NTT

日本電信電話 (株)

Microsoft

日本マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)



NTT データ (株)



NTT コムウェア (株)

OKI

沖電気工業 (株)

楽天

楽天 (株)

ilovex

(株) アイロベックス

uejima

(株) うえじま企画

SANBI

三美印刷 (株)

SONY

ソニー (株)

Panasonic
ideas for life

パナソニック (株)

Plat'Home

ぶらっとホーム (株)

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約 100 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8371